



平成30年9月号 Vol.14
情報メディア教育センター

知の入口「新書」を大量に並べておりますよー。

新書って読んだことありますか？ ある特定の分野について知りたいと思うとき、初手から難しい専門書に手を出すより、まず新書。さらっと読みやすく、いま先端の知識や論考、時事に強いのも特徴です。国語の試験の出題、小論文や面接対策など、新書をぼちぼち読んで慣れておくとかかなり楽だと思います。なかでも中高生にお薦めの新書レーベル「ちくまプリマー新書」、理系の「ブルーバックス」の蔵書を強化しました。学びはじめの一冊、本棚で手にとって選んでみてね。

大好評「まなびとあそびの体験ラリー」。あなたも「図書館探偵」やってみる？

夏休み中の7月29日に、地域の方々や小学生を対象としたイベント「まなびとあそびの体験ラリー」が開催されました。プログラミング講座や和菓子づくりや英語教室などなど、学校全体がプチお祭りモードでしたよ。

我らが EMC チームは「絵本の読み聞かせとかはベタやしなあ…」ということで、みらい&べるるのペッパー部隊は AGORA でクイズ大会、ライブラリーエリアでは、明治村などで開催されている暗号を解いて遊ぶ、探偵ゲームの図書館版を企画しました。



たくさんある蔵書の中から、たった1冊の本を探し出す図書館探偵。初級、中級、上級と難しさ

のレベルも3段階あります。ちなみに捜査依頼書(問題)はこんな感じです。どうです？ なかなかすぐには解けないんだな、これが。

この捜査依頼書は EMC カウンターで「図書館探偵やりたいです」と申し出れば誰でももらえます。初・中・上級あわせて30問ほど用意しています。ちょっと空いた時間にぜひ挑戦してみてください。そして嬉しいことに！ 見つけた本を借りる生徒さんも多いんです。本と出会う面白いきっかけにもなりますよね。

(EMC 司書・内田)

鈴鹿中等教育学校 まなびとあそびの体験ラリー	
図書館探偵 捜査依頼書(中級)①	
問題	
以下のキーワードをもとに、1冊の本にたどりつくのだ。	
活 / 死 / 休	
長・福・熊・鹿・宮・大・佐	
228×2	

新着図書ピックアップ

『世界をまどわせた地図』

エドワード・ブルック=ヒッチング【著】/関谷 冬華【訳】



「世界はどんな形をしているのか。」まだ誰もそれを知らなかった頃、未知は溢れんばかりの想像やロマンを生み出し、全くの絵空事の国・島・都市などが地図に記載された。それらは広まり、信じられ、冒険者たちを大海原に送り出した。本書はその歴史物語の数々を美しい古地図と貴重な図版・写真とともに集大成している。例えば、アトランティス・エルドラド・ムー大陸等々、超有名どころからマニアックな地名まで。楽園と信じて270人が入植したがそこにはなにもなかったという「移民希望者から金を騙し取った嘘の国」。島と思われていた朝鮮半島といびつな日本が描かれている極東の地図。最近までグーグルマップにまで載っていた「サンディ島」や「ニュルンベルク年代記の地図の不思議な種族」の解説もあり奇妙な世界に魅了されます。(大塚)

『太宰治の手紙: 返事は必ず必ず要りません』

太宰 治【著】/小山 清【編】

今年で没後70年を迎える、作家太宰治が数え年25歳から32歳までの8年間に、師・井伏鱒二、作家・木下尚江、私淑した小山清、若い友人・高田英之助、内縁の妻小山和代と姦通した小館善四郎らへ送った、戦前の百通の書簡。「返事は必ず必ず要りません」とは恐るべき甘え方ではないか。「僕、芥川賞らしい」とウキウキして知人に送るが落選。「ふざけたことに使うお金ではございません。たのみます。」と借金の願い。みっともないままに人に頼る有様ではないか。太宰は青森の大地主の家に生まれ、東京帝大に進むが、心中未遂や薬物中毒など、どうしようもない苦悩を一身に背負って生きてきた。本書は赤裸々な本音、優しさや駄目さを如実に伝える一級資料。(黒川)



『噛み合わない会話と、ある過去について』

辻村美月【著】



友だちでも家族でも先生でも先輩でも恋人でも、普段いろいろ会話をするなかで、自分の思いと相手の思いが、まるでボタンを掛け違ったみたいに、いびつに噛み合わないことがあります。「自分はそんなつもりで言った(した)んじゃないかったんだけどな」ってこと、皆さんにも多分ありますよね。

例えば「ケンカして別れた」という事実があったとして、それが立場や見方が異なれば、まるきり違ったものになる(このような主題を描いた本では芥川龍之介の『藪の中』が有名です。短いお話ですすぐ読めるのでこちらもぜひ！)。言った側と言われた側。やった側とやられた側。そのすれ違いを痛いくらい緻密に描いた4つの短編集です。『かがみの孤城』で本屋大賞を受賞した後の第一作としても注目です。(内田)

新着ピックアップは毎月、司書3人がこれはぜひ読んで!と思う本を選びすぐってお届けします。

上記以外にも新着図書がたくさん届いています。カウンター前の新着コーナーをご覧ください。

